

# コミュニティが創る地域力

**森** 成熟のまちづくりの重要な要素のひとつとして「地域力」が挙げられますが、私はその根底にはコミュニティの充実が欠かせないものであり、市内の各地域が一つになることが重要だと考えています。

**金子** ニューメキシコ州はコミュニティ先進地域であるそうですが、三田でも取り組めることはあります

**星** ビル・ゲイツがマイクロソフト社を設立したのがニューメキシコ州なので、三田の若き「ビル・ゲイツ」にチャンスを与え、若者がチャンスをつかめるような気風が必要だと思えます。大学、シニア人材、地域の連携によって若者のアイディアを発信できる技術革新の好循環ができれば、産官学の連携が求められます。

**森** ビル・ゲイツは今までにない発想を持っていたので、「ばか者」と思われながらも偉業を成し遂げました。まちづくりの転換期には「よそ者、ばか者、若者」の力が必要だといわれています。「ばか者」や「よそ者」など、市外からの転入者を広く受け入れる気風が三田にあれば、転入してくださる方は増えると思えます。三田に生まれ育った人だけでなく、三田に移り住んだ人や働いている人、学んだ人にも三田に誇りや愛着を持っていただく、いわゆるシビックプライドを創造していかねればなりません。

**金子** そのためにも、日本を支える仕事をしてきた経験を持つシニア世代に

産業政策の一端を担ってもらったり、若者との経済的な活動を通じてふれあってもらえるような価値を作る必要があると思えます。シニアと若者が交わる場が市内にあれば、シニアの皆さんの貴重な経験や文化を直接、継承できます。シニアと若者がふれあう経済的な活動は「学び」と呼べるかもしれません。

**森** ほかに、自治会やコミュニティは災害が起きた際に大切だとは分かっていますが、日々の活動が大変だから・・・と参加されない傾向にあります。そうではなく、まちづくりはおもしろい！と思ってもらえるような仕掛けを行政が作ってほしいです。コミュニティ活動がおもしろければ若者やシニアの皆さんも参加していただけると思えます。

**田辺** 若者がたくさんいるところにはシニアも集まります。コミュニティ活動には、現役で働いている人が参加できる仕組みが必要だと思います。

**星** 市と一緒に改革していく、自分で限界を決めないで一緒に変えていく精神が三田の土壌にはあると思えます。そんな人が増えて、その人たちのアイディアや力を生かせるまちなってほしいです。

**森** 地域で力を合わせ、安心・安全を守り、地域からまちづくりを創っていくために、新たなコミュニティの構築が不可欠であると考えています。平成30年度中には(仮称)コミュニティ条例を提案するなど成熟社会に対応した新たな仕組みづくりに取り組むたいと考えています。



もり 哲男 市長

平成 27 年 8 月 8 日就任。「日本一住みたいまち」を目指してまちづくりを進めている。

# 誰もが誇りをもてる 成熟したまち三田



# 産業を変える人材

**森** 三田は今、財政危機の状態です。理由はまちづくりの当初の人口想定と現在の人口に差があることや国からのお金が減ったことなどさまざまですが、経済的に自立するためにはこれからの三田の姿をしつかり示すことが重要だと思っています。国からの補助が減るのであれば、産業を興して税収を増やすしかありません。そのためにも本社や研究機能のある産業を三田に増やしたいと考えています。

**金子** 自治体が自立し、ニュータウンの人が活躍する一つのシンボルとして、研究所を誘致するのも良い考えだと思えます。ニュータウンに移住した人たちは三田に対する一体感や自分たちがどんな役割を持っているかなどが、まだ確立されていないと思えます。地域に誇りを持って活躍できる仕組みがほしいです。

**森** ニュータウンだけでなく、農村部も盛り上げていきたいですね。科学と融合した新しい農業や産業で、ニュータウンと農村部を結び付けたいと思っています。

**金子** そのためにも、今までにない新しい「ばか者」の一步を踏み出したいところです。三田にはさまざまな職業経験を持つ、政策提言のプロが多くいますが、自分たちの扱っている世界的な規模の問題が地域の課題と結びついていないのだと思えます。身近に、高度な技術を持つ人がいることが三田の魅力なので、その人たちの力を生かしてほしいです。

**星** そのためのロールモデルを作ることが成功につながるのではない

でしょうか。また、利益を追求するだけでなく、まちの中に主体的に学び合う場をどんどん作り上げることが大切だと思えます。

**金子** まちの中から生まれたアイディアをまちづくりに生かす仕組みもいると思えます。定年後に何かを始めようとした場合に大阪や神戸などの都心部へ出て行くのに時間がかかるのは三田の弱みかもしれません。逆に言えば経験豊富な人材やアイディアを囲い込むことができると思えます。いろいろなものを持つ人たちをどうやって顕在化させるか、応援できるか、その仕組みを作る必要があるのではないのでしょうか。

**森** 技術を持つ人や挑戦したい人を認め合って受け入れられる成熟度の高さは、三田が生き残るために重要です。

**金子** 何かを作ったり成し遂げたりすることは一人ではできません。力を合わせる文化を作り上げる必要があると思えます。答えのない世界でみんながががいていますが、困難を乗り越えた経験を持つ人は必ずいます。その人たちと力を合わせてまちづくりを進めることが重要ではないでしょうか。

**森** いつまでも三田のまちが元気であり続けるためには、幕末から明治維新のころのように、三田に多くの人が集い、賑わい、学習環境が整ったまちとして、子どもからシニアまで幅広い年代が活躍できるように、多様な機会を創出していきたくと考えていますので、今後ともご協力のほどよろしくお願ひします。

理工学大学院教授。国際英米研究センター共同研究員、独立行政法人科学技術振興機構の理事として、最先端分野(次世代材料の開発)で活躍されている。

かねこ 忠昭 さん



(広告)

あなたの「未来」応援します！

## 国の教育ローン

ご融資額 350万円以内 (お子さま 1人あたり)

【ご相談・お問い合わせは】 教育ローンコールセンター

ハローコール 0570-008656 (または 078-341-4982)

月～金曜日/9:00～21:00 土曜日/9:00～17:00 ※日曜日、祝日、年末年始(12/31～1/3)はご利用いただけません。

JFC 日本政策金融公庫 神戸支店 国民生活事業

詳しくは Web で！

国の教育ローン 検索